

師走選挙が終わり、日本列島は寒波に見舞われていますが、街を彩るイルミネーションは美しく輝き、クリスマスそしてお正月モードに入ってきました。現在会員登録数 1,610 人さま。今年 1 年のご愛読ありがとうございました。次号は新年 1 月 20 日発行の予定です／

☆。.:*。★。.:*。☆。.: 目次 *。☆。.:*。★。.:*。

【1】お知らせ

【2】コラム

《1》 YO! この本読んだ? Yasuko's & Okiko's Talk

《2》 読書活動ボランティアのためのワンポイント 52

《3》 サイト紹介 ー子どもの本をリサーチするー

《4》 行って来ました!

【3】全国イベント紹介

【4】プレゼント

☆。.:*。★。.:*。☆。.:*。★。.:*。☆。.:*。★。.:

■-----■
【1】お知らせ ☆

● フォーラム :

「児童文学とは何かを問い続けて— 児童文学者 鳥越 信の仕事を顧みる」
児童文学研究、絵本研究、子どもの読書活動の普及のために活動を続けた
鳥越 信氏 (1929~2013) の業績を顧みることによって、児童文学・児童文化
の歴史をふりかえり、これからの子どもの本のありようについて考えます。

日 時 : 平成 27 年 1 月 31 日 (土) 午後 1 時~4 時

場 所 : 大阪府立中央図書館 2 階大会議室 (東大阪市荒本)

講 師 : 宮 川 健 郎 (武蔵野大学教授、日本児童文学学会代表理事)

向 川 幹 雄 (兵庫教育大学名誉教授)

森久保 仙太郎 (翻訳者、絵本研究家) = ビデオ出演

コーディネーター : 三 宅 興 子 (当財団理事長)

参加費 : 一人 1,000 円

定 員 : 80 名 (申込先着順)

主 催 : 一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団

後 援 : 大阪府立中央図書館 / 日本児童文学学会

助 成 : 子どもゆめ基金助成活動

お申し込み、詳細は ↓ ↓

http://www.iiclo.or.jp/03_event/02_lecture/index.html

● 懐かしの街頭紙芝居~「少年ローン・レンジャー」とその時代~

日 時 : 平成 27 年 1 月 25 日 (日) 午後 2 時 30 分~4 時 45 分

場 所 : 大阪府立中央図書館 2 階大会議室 (東大阪市荒本)

定 員 : 80 名 講演会のみ事前申込必要 (申込先着順)

参加費 : 無料

1. 街頭紙芝居実演 「少年ローン・レンジャー」等
出演・講師：塩崎おとぎ紙芝居博物館
 2. 講演会「街角の子ども文化～紙芝居の歩みと今日的意義～」
講師：畑中圭一（童謡詩人、児童文学研究者）
- 共催：大阪府立中央図書館 国際児童文学館／大阪国際児童文学振興財団
協力：一般社団法人 塩崎おとぎ紙芝居博物館

●「日産 童話と絵本のグランプリ」受賞作品が出版されました
当財団主催、「第30回日産 童話と絵本のグランプリ」（平成25年度実施）の大賞2作品が、BL出版より出版されました。

『カエルと王かん』なかじまゆうき／作 童話部門大賞作品

山田真奈未／絵（第10回絵本部門優秀賞受賞者）

『きいちゃん』ながやまただし／作・絵 絵本部門大賞作品

表紙写真はこちらからご覧ください。↓↓

http://www.iiclo.or.jp/07_com-con/02_nissan/index.html

● 寄付金を募集しています

当財団の運営を応援いただける個人、法人の皆さまからのご寄付を募っています。寄付金は、当財団が行う講座・講演会など、さまざまな事業経費に充てさせていただきます。ぜひ、ご協力いただきますようお願いします。

お申し込み、詳細は → <http://www.iiclo.or.jp/donation.html>

【2】コラム ☆

《1》 Y O ! この本読んだ? Yasuko's & Okiko's Talk

『ふたりのエアリエル』 ノエル・ストレットフィールド/著 中村妙子/訳

教文館 2014年10月 対象年齢：小学校高学年以上

あらすじ：1942年8月のロンドン。12歳のソレル、9歳半のマーク、8歳のホリーの姉弟妹は、母はすでになく、父は戦争で行方不明、父方の祖父も亡くなり、大女優である母方の祖母の屋敷に住むことになる。3人の母の家系は演劇一家で、祖母は3人を舞台芸術学院に入学させる。そこでソレルは、女優の才能を開花させ始めた従妹のミランダと出会い、自分も女優になりたいと強く願う。そして、シェークスピア劇「テンペスト」の妖精エアリエル役に挑戦する機会を得る。

O：12月は少し古めかしいクリスマス物語を選んでみました。

Y：1944年出版の作品ですが、おはなしをたっぷり読んだという満足感がありました。

O：演劇やバレエ、スポーツをがんばる少年少女の物語は、日本では『ガラスの仮面』など、マンガが貢献してきましたが、イギリスでは、児童文学の一ジャンルであり、ノエル・ストレットフィールドは、その代表的な作家です。

Y：いわゆる「職業小説」と言われ、バレエやサーカスなどを題材にした作品を多く書いています。日本では『バレエ・シューズ』（中村妙子訳 すぐ

書房 1979 年) が有名です。『ふたりのエアリエル』には『バレエ・シューズ』の主人公が大人になって登場します。

○：シェークスピアの中でも演じるのが困難と言われる「テンペスト」を題材に使っているところに、イギリスらしさを感じました。そして、ソレルの活躍は、1940 年代を社会背景にした女の子の自立ぶりも描いているのですね。

Y：私は、脇役がおもしろかったです。経済観念はないけれど大女優としてのプライドを持っているお祖母さま、ソレルたちを支える家政婦、お祖母さまと微妙な距離を持っているソレルたちの伯父、伯母。そして、ややステレオタイプではあるものの、ソレルのライバルのミランダが作品をドラマチックに盛り立てていると思いました。作者の舞台経験が細かい描写に反映され、作品にリアリティを持たせているとも感じました。

○：弟のマークは、最後には海軍士官を望み、元の学校に戻ることに決まり、ソレルは舞台で成功を収め、そして、クリスマスには行方不明の父親が帰ってくる。ストーリーとしては出来すぎで、マークとソレルの将来選択はややステレオタイプなのに、それでも、読んでよかったと思ったのは、作者のストーリーテラーとしての才と、そして、中村妙子さんの絶妙な訳の力かなと思います。

Y：中村さんは 90 歳を超えていらっしゃるのですが、お年を重ねられたことで、ますます翻訳に熟練の技と余裕が感じられ、味わい深くて読みやすい訳になっていると思いました。

○&Y：メリー・クリスマス、今年も一年ありがとうございました。

《2》 読書活動ボランティアのためのワンポイント 52

その9 おはなしを語る (3) おはなしを選ぶ 2

前回のおはなしを選ぶ観点を参考にしながら、具体的な作品をとりあげて、おはなしを選ぶときに考えたこと、気づいたことを書いていきたいと思います。

「二ひきのよくばり子グマ」(『子どもに聞かせる世界の民話』矢崎源九郎編 実業之日本社 1964 年) という幼い子ども向けのハンガリーのおはなしがあります。二匹の子グマの兄弟が母に別れを告げ、旅に出ますが、途中でおなかがすいて歩けなくなります。すると、道の真ん中に大きなチーズを見つけます。どちらが半分に分けるかでけんかをしているところにキツネがやってきて、自分が公平に分けてあげると言われます。キツネはわざと片方を大きくして、大きい方のかたまりにがぶりと食いつきます。これを繰り返してかけらになったチーズを子グマはもらい、キツネは去っていきます。

このおはなしは、「おいしいものをきょうだいと分け合う」という子どもにとっても身近な題材です。また、母親から離れて旅に出るという自立を描いた物語で、子どもたちの人生に起きる重要な出来事が描かれています。キツネという悪者にだまされるという結末は、子グマを身近に感じる子どもにとってはショックな出来事として強く印象に残ります。

この作品の構成は、

起 二匹の子グマが世の中に出ていく
承1 くたくたに疲れて歩けなくなる
承2 チーズを見つけてけんかをする
転 キツネがチーズを分ける
結 かけただけが残ってキツネが去る

となっており、しっかりとした構成でストーリー展開を支え、聞き手の頭の中にすっと入ってくるようにできています。

次回も引き続き、この作品のおもしろさを考えていきたいと思います。

*次号は「その9 おはなしを語る(3) おはなしを選ぶ 3」の予定です。
質問や意見をいただきましたら、お答えしていきたいと思います。(Y)

《3》 サイト紹介 一子どもの本をリサーチする一

資料所在情報データベース補遺篇〈その2〉

今回、ご紹介するのは以下のサイトです。

●本・書籍通販検索 書籍横断検索システム

<http://book.tsuhankensaku.com/hon/>

ネット時代になり、本もオンライン検索して在庫や価格を調べ、購入することが多くなってきました。書店に出向かなくても、ネット注文すれば数日後には自宅に届く手軽さが受け、急速に広まっています。

一方で、サイトには新刊書店もあれば古書店もあり、さらにはオークションもあります。しかし、数あるサイトをいちいち個別に調べるのも不便なもの。そこで活用したいのが本サイトです。

このサイトに参加している書店は、新刊では「紀伊國屋」や「丸善&ジュンク堂」「アマゾン」など12社、古書では国内の古書検索で最大規模の「日本の古本屋」や「ブックオフオンライン」など10社、他にオークションサイトが3社。これらをすべて横断的に検索できます。まさに、国内在庫の実に多くをカバーするラインナップです。

例えば、『かいじゅうたちのいるところ』で検索してみます。新刊書店では、どこに新品在庫があるのか、送料が各店いくらか、発送はいつかがたちどころにわかります。また古書店では、どの書店が最も安く購入できるのかはもちろん、「センダック」ということばを含む雑誌の特集号まで表示されます。さらにオークションに至っては、洋書絵本やポスター、ポストカード、小説版書籍なども含まれてきます。

このように、入手しやすい本でも絶版本でも横断的に検索でき、それらが一覧として表示され、在庫があれば自らの求める本を購入できるのが大きな魅力といえます。

むろん、実際に書店で本を手にとって選ぶことの楽しさ、大事さはいうまでもありません。必要に応じて使い分けていきたいものです。なお、サイトの

課題としては、ISBN をキーに横断検索することから、それが付与されていない雑誌などは対象にならないこと。改善を期待したいところです。(J)
※次号は、資料所在情報データベース補遺篇〈その3〉の予定です。

《4》 行って来ました！

大阪南港ATCで1月12日まで開催されている「スヌーピー×日本の匠展」
に行ってきました。

日本でも有名な「スヌーピー」は、もともとチャールズ・M・シュルツさんが1950年から約50年も一人で書き続けた新聞連載漫画『ピーナッツ』に登場するキャラクターです。この展覧会は、シュルツさんと深い親交があり、スヌーピーのキャラクターを使った作品を作っているアーティストの大谷芳照さんが、シュルツさんと日本の伝統を受け継ぐ匠の創作姿勢に、「もの作りを極める」という共通点を感じてプロデュースしたそうです。

前半は大谷さんとシュルツさんの出会いの経緯や、「スヌーピー」の歴史がわかる展示になっています。筆で書かれた漢字とスヌーピーの絵が組み合わさった墨絵アートは、チャーリー・ブラウンとくつろぐ「友」や小躍りしているような「祝」など、文字のイメージとスヌーピーがうまく合わさっているほのぼのした気分になります。スヌーピーやチャーリー・ブラウンのばらばらになった顔のパーツで作ったモビールや、ピアノを弾いているシュローダーがだんだんベートーベンになっていく切り絵など、大谷さん流のスヌーピーの世界が楽しいです。

後半は、スヌーピーをモチーフに作られた陶磁器、漆器、友禅、欄間など日本各地の伝統工芸品が40点も並びます。スヌーピーの形に作られたものもあれば、デザインの一部に取り入れられているものもあります。有田焼では桜吹雪をまもっていたり、九谷焼では唐草模様の服を着ていたり、輪島の蒔絵が施されたスヌーピーなど個性的です。三州鬼瓦の上に寝そべっていたり、飛騨一位一刀彫では人力車を引いている姿だったり、友禅では四季の植物と一緒に描かれていたり、和風の工芸品に違和感なく溶け込んでいるのが不思議です。萩焼の小物入れや輪島塗の重箱など、家で使うのに思わず欲しくなりました。展覧会オリジナルグッズも広いスペースで販売されていて、すみずみまで見て楽しみました。(K)

【3】全国のイベント紹介 ☆

● JBBY 創立 40 周年企画 スペシャルトーク

「子どもの本のこれから — 未来への贈りもの」

ゲスト：角野栄子（児童文学作家）あべ弘士（絵本作家）穂村 弘（歌人）

日 時：1月18日（日）午後1時30分～3時30分

会 場：星陵会館（東京都千代田区永田町）

定 員：350人 申込先着順

参加費：有料 高校生以下無料

主 催：JBBY（一般社団法人 日本国際児童図書評議会）

● 市居みかさんの不思議で楽しい絵本の世界～講演会 & ワークショップ～

日 時：1月25日（日） 午後1時30分～3時30分

会 場：堺市立南図書館 3階ホール

定 員：60名 （申込先着順）

参加費：無料 ※保育はありません。

同時開催：「市居みかさんの“絵本のひろば”」午前11時～午後4時

主 催：お話と楽しく出会う会「あったとき」

上記イベントの詳細およびその他の講座・講演会、展示会、公募情報については、こちらからご覧ください。↓↓

http://www.iiclo.or.jp/03_event/04_other/index.html

※イベント情報をお送りください。当財団HPに掲載させていただきます／

【4】プレゼント ☆

今号【1】お知らせ欄で紹介しました「第30回日産 童話と絵本のグランプリ」受賞作品の絵本2冊をセットで1名の方にプレゼントします。

『カエルと王かん』なかじまゆうき／作 山田真奈未／絵 『きいちゃん』ながやまただし／作・絵（BL出版）

ご希望の方は、メールで件名「メルマガ NO.52 プレゼント希望」とし、(1)お名前 (2)郵便番号・住所 (3)電話番号 (4)メールアドレス、よろしければ(5)このメルマガのご感想をお書きのうえ office@iiclo.or.jp にお送りください。締切は1月12日(月)、当選発表は発送をもって代えさせていただきます／

編 | 集 | 長 | の | つ | ぶ | や | き |

かつて、庭の木をクリスマスツリーに見立て、電飾していた。

「今年は飾らないんですか？」

「もうやめて3年にはなりますよ。」

「なかなか綺麗でしたのに・・・、お孫さんも喜ばれたでしょう。」

「上を向いての作業はめまいがして、もう無理ですわ。」

月参りに来られたお坊さんとの会話です・・・。(A)

当財団の業務は12月28日（日）から1月5日（月）まで休業とさせていただきます。皆さまにはどうぞよい新年をお迎えください／

みなさまのご意見・ご感想をお聞かせください。下記メールアドレスまでお願いします。原則として返信はいたしませんのでご了承ください。

●このメルマガジンは、ご登録いただきました皆様に配信しています。

●配信の登録・解除・変更は、

http://www.iiclo.or.jp/m1_magazine/index.html パソコンからどうぞ

●このメールの送信アドレスは配信専用です。

●記事の無断転載はご遠慮ください。

発行：一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団 <http://www.iiclo.or.jp/>

〒577-0011 大阪府東大阪市荒本北 1-2-1 大阪府立中央図書館内

TEL : 06-6744-0581 FAX : 06-6744-0582 E-mail : office@iiclo.or.jp

^☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
